

## 座繰り糸・つむぎ糸による製品製作

座繰り糸・つむぎ糸は機械繰りの糸とは違う独特の風合いを持ち、手作りの良さを生かした多様な製品が作成できる。

**たて糸の太さ（座繰り糸）:** 手作りをアピールするためと制作の容易さから太目の糸が良い。



表1 たて糸の太さと適する用途

繭粒付数	織度 (d)	太さ	適する用途
50~100	140~280	細	着尺や薄手の織り布等
100~200	280~560	中	服地、ニット製品等
200~300	560~840	太	マフラー、バッグ等小物類、敷物等

**綜 恍:** 枚数が多いほど多様な織物が製作できるので、4枚以上が良い。

表2 綜恍枚数によって製作可能な織物の種類

枚数	基本織	変化
2枚	平織り	むしろ織り
4枚	斜紋織り	杉織、花風通、菱形文織り等
6枚	朱子織り	たて朱子、よこ朱子等

表3 平織りマフラー1枚の製造費

たて糸生産費	1,508円	(座繰り糸 30.5g)
よこ糸生産費	4,148円	(つむぎ糸 70g)
染色経費	1,632円	(作業時間 240分)
機織り経費	3,200円	(作業時間 480分)
<b>合計</b>	<b>10,488円</b>	



### 上手に作るポイント

1. 精錬後に糸を先染めすることにより多様な糸の組み合わせが簡単にでき、手織りの仕上がりも良好になる。
2. 織りむらを少なくするため、準備する糸の織度はできるだけ揃えておく。
3. たて糸は毛羽立ちや切断を防止するため、糸車等でよりをかけておく。